

令和7年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	飯山市公民連携推進プロジェクト 城南中学校断熱改修ワークショップ
事業主体 (連絡先)	飯山市 公民連携推進課
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	6,695,925円(うち支援金:5,000,000円)

事業内容

飯山市ではカーボンニュートラルの推進に向けた取組みを進めており、その中で省エネルギー化、建物の断熱化の取組みが大事だと考えている。一方公共施設の断熱化も課題の一つであり、市内の小中学校ではエアコンの設置は完了しているものの建物の断熱性能が十分でなく、エネルギーの負荷が大きい。このため城南中学校の普通教室を題材に、ワークショップ形式で断熱化を行った。断熱改修の事前学習を、中学生、高校生に対して実施し、引き続き断熱改修のワークショップを行った。ワークショップには一般の方も参加し、環境・断熱の知識を得ていただき、また断熱の効果を「体感」していただくことができた。

- ・断熱改修事前学習 中学生 7月10日 開催
- ・断熱改修事前学習 高校生 7月14日 開催
- ・断熱ワークショップ高校生 7月22日 開催
- ・断熱ワークショップ 8月6・7日 開催

事業効果

- ①事前学習、断熱改修ワークショップを通じて、地域のみなさん、中学生、高校生に対して、カーボンニュートラルの取組み、省エネルギーについて、そのための建物の断熱改修について理解を深めていただくことができた。
- ②実際に省エネルギーに向けた建物を断熱化する内容、工程をワークショップの参加者に対して、実際に作業しながら丁寧にレクチャーできた。
- ③中学校の教室を使用したワークショップを行うことで、完成した後も他の建築物に比べ、様々な方に断熱化を見ていただけることがメリットである。環境教育が、学校の教員、生徒、保護者、そして卒業生となって、広がっていくと考える。
- ④ワークショップ当日、行政・事業者の見学者も多く、他の公共建築への広がりが期待できる。

今後の取組み

- ・今後も飯山市では公民連携という観点から、行政と飯山市建設業協会、長野県建築士会、飯水岳北建設労働組合、中学生、高校生といった産官学が連携しカーボンニュートラル、省エネルギーについて推進していきたい。
- ・建物の断熱化改修については、一般住宅へさらに普及していくよう取組みを進める。市役所内の協力体制を進め、住宅改修希望者、移住者向けにPRを実施していきたい。



【ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①カーボンニュートラルの推進
- ②断熱化の建物改修の理解促進
- ③省エネルギーの環境教育
- ④建物の断熱化についてPR

※自己評価【A】

【理由】

・飯山市での中学校校舎での断熱改修ワークショップの取組みを進めることにより、県内他の地域への広げることができた。
具体的には、原村において飯山市の取組みを参考にし、中学校断熱改修を行う計画となり、飯山市と原村で、断熱改修のワークショップを同日開催(8月6,7日)に実施し、環境への意識の醸成に効果があったと考えられ、外部へのPR、断熱改修の広がりがあった。